

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 9月30日更新

事務事業名		都市公園地域型管理事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連						
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり				所属部	事業部	課長名	中島 眞由美		
	施策	9	住環境の充実				所属課	都市計画課	担当者名	谷口 大介		
	施策の柱	26	公園など身近な住環境の整備				所属班	都市計画班	(内線)	2234		
予算科目		会計一般	款8	項4	目2	事業連番10140	根拠法令	都市計画法・都市公園法・都市公園条例・施行規則			成果優先度評価結果	⑧
								コスト削減優先度評価結果			③	
終了、開始年度		☐ 27年度で終了 ☐ 27年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)				

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	都市公園(街区公園)について維持管理する事業であり、主なものとして草刈、樹木の剪定・消毒、清掃、点検等の管理を地元行政区の自治会へ委託している事業である。なお、公園内除草後の草木くず運搬については業者へ年間委託している。
【業務の流れ】	委託費積算・委託者選定・決定・契約・打合せ・検査・支払い
【主な予算費目】	11 需用費 12 役務費 13 委託料
【意見や要望】	ボール遊びによる周辺住民からの苦情がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)		28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
委託費積算・委託者選定・決定・契約・打合せ・検査・支払い		委託費積算・委託者選定・決定・契約・打合せ・検査・支払い
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 維持管理を行った公園	箇所	公園除草等運搬委託の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等公園利用者	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
	箇所	→ ア: 公園数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
適正に管理できる安全快適に利用できる	件	→ ア: 苦情・要望数
* ③ 成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
苦情要望の件数は管理状況を示すバロメータとしても有意義であると考えたため		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費 の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込	
① 活動指標	アイ	箇所	160	164	167	168	171	175	179	183	
② 対象指標	アイ	箇所	160	164	171	168	175	179	183	187	
③ 成果指標	アイ	件	56	73	60	103	60	60	60	60	
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	14,916	15,027	14,752	15,478	15,896	14,000	14,000	14,000
	(A) 事業費計	千円	14,916	15,027	14,752	15,478	15,896	14,000	14,000	14,000	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	4	4	2	4	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	780	800	500	965	500	500	500	500
		(B)人件費計	千円	3,107	3,187	1,992	3,583	1,992	1,992	1,992	1,992
トータルコスト(A)+(B)		千円	18,023	18,214	16,744	19,061	17,888	15,992	15,992	15,992	

事務事業名	都市公園地域型管理事業	所属部	事業部	所属課	都市計画課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は27年度的事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②28年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 適正に管理されているため目標達成は可能
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 限られた予算・人員でおこなっており、向上余地はない
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業はない
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 現時点で地元区を活用するなどしており削減は難しい。ボランティア活動が増えても施設の老朽化などに必要なコストはかかる。削減を図るには、樹木や施設の撤去廃止が必要であるが利用者には不便となり既存公園全体の廃止はむずかしいので維持は必要である
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の人員と時間でおこなっている
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 公園の施設は市民が誰でも無料で利用できる
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 一部地域住民でできる作業については、現在も地域でおこなっている

3 評価結果の総括（CHECK）

地元自治会に業務委託し適正に管理を行った。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																							